奈良縣月報附錄
昭和十八年五月一日印刷
昭和十八年五月五日發行
（第四卷第五
編輯兼發行人 川井富蔵
編輯所 奈良縣地方課

大和の隣組

昭和村八條部落會藤川隣組ノ防空用貯水池掘リ

明るい世界は明るい隣組
の延長である。一つ一つ
の隣組にかゝる責務は、
日に日に重大さを加へて
來る。
作れ健兵、ふやせ健民、
產めよ科學、その苗床は
わが隣組そのものである。
作れ兵艦、送れ砲彈、飛
ばせよ荒鷲、その苗床は
わが隣組そのものである。

5月

武器ナキ攻撃ニ備ヘヨ

特高課

一體戰爭トハ何カト云ヘバ相手國ヲ敗カシテコチラノ意ニ從ハセルコトデアル故ニ其ノ目的サヘ達セタラ必ズシモ武力ヲ用ヒコデコンナ大量ノ軍需品シカモナケレバナラヌト云フコトハナク寧ロ武力ヲ使ハズニ目的ガ達ノダカラ之レヲ製造シ補給スルセラレタラ之レニ越シタコトハナイノデ各國ガ秘密戰ニ力ヲ注ガ理由ハ此處ニアル。第一次世界大戰デハ英國ノ秘密戰ガ獨乙勝利ヲ土俵際デ逆轉セシメ「ルーデンドルフ」將軍ヲシテ「獨乙ハ鐵丸ニ勝ツテ紙ノ彈丸ニ敗ケタ」ト慨嘆セシメルニ至ツタガ今次ノ戰爭ニ於テモ此ノ紙ノ彈丸ニ敗ケルコトハ最後ノ勝利ヲ失フコトデアル、デハ此ノ武器ナキ攻撃ニ對抗スル方法ハ如何其レニハ紙ノ彈丸ガ目標トスル所ヲ知悉スルノガ一番デアル**ヨク國防要素**ト云フ言葉ガ使ハレルガ之レヲ端的ニ謂ヘバ人ト物デアル、ソシテコノ中ドチラガ欠ケテモ國防ノ安全ハ期セラレナイ昔刀槍弓矢デ戰ツタ時代ニハ軍需品ノ貯藏ハ容易デ其ノ消費量モ大シタモノデハナカツタガ兵器ガ進歩シ而モ其ノ質ト

ヘカラダソコデ現在デハ事實ノコトチトラハ只其ノ並ベ方ヤ繼キ合セ方即チ編料ニヨツテ相手方ヲ自分ノ希望スル方向ヘ引ツ張ツテ行カウトスルノダ即チ本來ナラ右ヘ行クベキモノヲ編料ノ巧妙サニ依テ左ニ導クノデアル例ヘバ「日本ニハガソリンガ不足シテイル鐵モ不足シテイル米モ足リナケレバ木炭モ足リナイ餅モナケレバ酒モ飲メナイコレハ戰爭ヲシテイルカラダ早ク戰爭ヲ止メヌト國ガ潰レテシモウ」ト云ハレタトスル、成程足リナイコトハ事實デアルシテ見ルトサウカナウトソノ結論ヲ信ジテ蔵ギ出シタトスルト敵ノ謀畧ハ更ニ恐ルベキハ敵ハ以上ノナウナ事實ノ發生ヲ待タズ進ンデ銃后ノ國民生活ヲ擾亂スルナウナ事實ヲ人爲的ニ發生サセ一方之レニ順應シタ宣傳ヲ行ツテ我ガ國ノ思想的崩壞ヲナルノデアル一頃ノマツチ饑饉ノ裏ニモカウシタ魔手ガ動イテイタノダ即チ某外國系商社ハマツチヲ大量ニ買占メルト同時ニ「買溜メヌト大變ダ寶ラズニ置ケバ儲カルナリ」ト宣傳シテ買溜、賣惜ミ安ヲ增大セントシタノデアルコノヤウニ敵ハ計畫的ニ各種ノ方法ヲ以テ國民生活ノ不安ヲ醸成シ經濟的破壞カラ思想的破壞ヘト銃後ヲ急速ニ崩壞サセ我ガ國ノデアル從ツテ買溜ヤ賣惜闇取引ヲヤツタリ流言蜚語ヲ信ジテデマヲ言ヒフラス者ハ敵ノ手先トナツテ我ガ國ヲ誠ソウトシヲ居ルモノト云ツテ毫支ナイノデアル全國民ハ今コソ「撃テシ止マン」ノ敢闘精神ヲ以テ此ノ敵ノ謀畧ヲ排撃スベキデアル。

録行に於ける戰時債券買取措置に就て

経濟保安課

四月十日から政府が日本勸業銀行を中心として廣く各銀行をして適正價格で戰時債券の買入を開始せしむることになつたのであるが、債券は少しでも多く購入すること、そして一度購入した債券は所定の償還期日迄保有することこそ望ましいことは云ふ迄もないのであつて、このことは大東亞戰爭を勝ち抜く爲めに絶對必要なのである。

ところが債券を購入した方で思ひがけない災害に罹つたり、其の他色々と止むを得ない事情の爲めにどうしてもこれを賣つてお金に換へなければならないといふ樣な場合も往々起つて來ると思ふが從來は斯樣な場合と雖も一定の買價價格がなかつた爲に安値で入買したり又は飛んでもないものに安値で賣つて金の苦面をされて居つたと云ふ樣な方も相當あつたかの樣である。斯くては眞にお氣の毒千萬であるのでこれらの方々の希望に副ふとの政府の暖い親心から敢へて今回の措置を採られるに至つた次第である。

以上の樣な趣旨であるから若し債券を持つて居られる方にしてどうしてもこれを賣つて金に換へなければならないといふ樣な境遇に立到つた場合は遠慮氣兼れなく銀行に賣却してよい譯であるが併し萬一にもこの政府の親心に甘へ何等理由もないのに購入した債券を銀行に賣却して金に換へ不必要な物でも買ふといふ樣な考へを持つ人がありとすればそれは思ひ違ひも甚しいと云ふべきであつて特に此の點諒解のない樣切望すると共に今後は債券も必要とあらば何時でも適正價格で銀行が買入れて愈々決意を新にして債券消化に努められたい。

地方課だより

本年三月十日付ヲ以テ本縣ヨリ左記優良町内會部落會ニ對シ振興奬勵金各一封ヲ交付セリ

記

奈良市餅飯殿町内會
針ケ別所村下濱川部落會
昭和村八條部落會
下市町新町町内會
敵倚町四條第一町内會
多武峯村下ヶ尾部落會
王寺町舟戸町内會
忍海村新村部落會
牧野村大澤部落會
宗檜村宗川野部落會
田原本町大門町中町町内會
榛原町山邊三部落會

開拓戰士慰問日

是非町内會で

滿蒙開拓義勇軍は青少年達の鍬持つ手で、北方鎭護滿洲の原野を開拓し、傍ら食糧補給では眞に關東軍の兵站部として活躍してゐるのです、各町内會の隣組からは一人や二人は必らずこの義勇軍の子供を出した家があるべきです。その家へ行けば、その居住地も判るはずです。

各町内會から毎月一回は必らずこの兵隊にも劣らざる若き銃の戰士に慰問文を送つて下さい近く縣主催で慰問運動を實施する豫定でゐますが、まづ町内會等で皇軍慰問の手紙などを送る時には是非この義勇軍達にも手紙の慰問をして欲しいものと思ひます。

是非、開拓戰士を慰問する月に一日を設けて下さい（地方課）

五月の榮養食献立

健民課榮養係

筍と酢蒟

筍木ノ芽　四〇匁
蒟蒻　二〇匁
味噌　八匁
煮干粉　一匁
酢大サジ一杯

筍は皮を去り筍でよくもむか又は板ずりとしてさつと茹でゝ一分位のうすい輪切とします、味噌の中に煮干粉と木の芽を入れてよくすつて火にかけ筍にぬつてあみの上でやいてこげめをつく程度にやきます。蒟は灰汁でさつと茹でゝ酢に浸してつけ合せます

五月の常会徹底事項

一、農繁期を増産で勝ち抜きませう。

今月の農村は食糧増産の戰場です。農家は勿論ほかからも力を協せて米も麥も甘藷も大増産を見事にやりとげて食糧戰に勝ちぬきませう。

イ、苗代では病虫害の防除を充分に行ひ、田植の時には土地に適した品種を選ぶこと。これまで疎植に過ぎたところでは、出來るだけ密植につとめること。

ロ、麥の白澁病（シラシブ）、銹病（サビ）、赤黴病（アカカビ）は手おくれせぬやう、すぐに取のけるやうつとめること。

ハ、甘藷の植付は時期を遅らせぬことが大切です。大麥の成熟期十日位前が適期です。堆厩肥や草木灰澤山施して「反當千貫」をやり遂げること。

ニ、田植も麥の取入れも甘藷の植付も出來るだけ作業は共同でやること。また炊事も託兒も共同にすること。

二、二百七十億貯蓄達成に邁進しませう。

本年度の貯蓄目標額は二百七十億圓です。戰費をまかなふ決戰貯蓄です。一億一人殘らず歩調を揃へて新目標目指して總進軍しませう。

イ、新しい目標額に基いて部落會、町内會や隣組では夫々一年分の國民貯蓄組合の貯蓄額と國債債券の割當額とを決定しみんなに充分徹底させること。

ロ、簡易保險の一億新加入運動が五月中に行はれます。まだ入らぬ者はこの際加入し既に加入してゐる人は出來るだけ最高額の千圓にまで追加すること。

三、決戰下健民運動を徹底しませう。

健民運動は皇國民族發展の基です。五月一日から十日までにこの運動が强調されますが、特に次の事項の徹底に努めませう。

イ、早起きや體操を勵行し、行軍や銃劍道を盛んにしてつねに心身を鍛へること。

ロ、母子の保險のために姙婦や、産婦、乳兒のある家庭には乳や食べ物に不自由せぬやうみんなでお世話をつくし仕事の手傳ひもつとめること。

ハ、結核の豫防撲滅が大事です。時々健康診斷をうけ、住ひは明るくし、外氣を吸ふこと。

ニ、これからは傳染病の時期です。食べ物はよくかみ、つとめて手洗ひやうがひをし、家の内外の掃除をよくし、特に流し場や便所を清潔にすること。

食糧問題解決の一つの鍵は
食糧の増産にあり

奈良縣 食糧増産指導本部（農務課）

人が集ると話は必ず戰爭を勝抜く事と食糧の事になる。今日程國民の關心がこの二點に集中した事はかつてない。その位重要な問題であり一日も一時も忘れることが出來ないことがらであるからである。この「たべもの」の問題を解決するカギは三つある。第一は食物を澤山作り出すこと卽ち食糧の増産であり第二は増産したものは戰爭を勝ちぬく爲にお國の御用に立て、下さいと供出して戰場の兵隊さんはもちろん、銃後の皆樣が安心して戰力増强に一生懸命になつて戴く事であり。第三は農家の方々が汗と努力で増産して下さつたこの食物を感謝して戴き、なほ又一粒でも無駄にせず、たとへ配給の量が少々すくなくても工夫して戴く樣にする消費の規正であります。そうすると食物を増産する農家の方々も亦之を消費する方々も一致團結して實行しなければ言ひかへると鼎の三本の足の内一本の足が短くても「かなへは」不安定でありこの三本が完全でなければ食糧問題は解決出來ないので、良く縣及農會の指示にもとずき御協力をお願いする次第です。今日は食糧の増産について申上ます。

奈良縣の増産目標は、米穀八十二萬二千四百九十石、麥一十萬七千八百四十五石、甘藷八百二十二萬貫、馬鈴薯五百四十七萬五千貫、大豆一萬三千二百八十七石でありまして、既に部落別各戸別に各々増産目標を割當て各農家では工夫と努力により目標達成に邁進されてゐます事はお國の爲に感謝に堪へません。この爲に色々の方法を講じてゐますが、稻耕種改善規準及施肥規準を四年前から農會で示し本年も示してありますから、これを充分讀んで實行して戴ければ、たとへ肥料は少くても必ず目標は達成出來ます。麥については病害虫を一齊防除することが重要で、特に條斑病といふ麥のペストとも言ふべき恐ろしい病氣が本縣で昨年發見されましたから葉や莖に赤褐色の線のある麥は農會に持つて行つて問ひ合せて完全に防除して下さい。次に甘藷ですが本年の食糧不足對策として平均反當三百貫を六百貫にすればこの位役立つものはないと信じまして甘藷増産倍加の大運動をなしてゐます。丁度苗床にはよい苗がすくすくと育つてゐますから長さ一尺乃至一尺二―三寸目方五匁以上の健苗を反當三千本を水平ざしにして遲くとも六月中旬迄に植付て下さい（三月の常會月報に詳しく書いておきましたから今一度みて下さい）これを丸山式栽培法といひ農會の示すやうに實行すれば六百貫は大丈夫とされます。又特設及共同育苗團、千貫採り會、甘藷増産指導員の活動、多收競作會、實地指導地なぞ施設がありますからこれを活用して是非とも増産に努力をして下さい（苗の不足する者は農會迄組長を通じて申出下さい）猶又、自給肥料の増産増施、勞力の不足の對策、等色々の事がありますが、既に度々申上てありますから要點はどうして實行するか、農家でない方はどうして協力するかが重要でこの事柄について常會で實行方法を申し合せ必ず實行して、この大決戰を勝ちぬく底力を出し、「必ず増産目標を完遂して、「食糧は不安なし」として下さいその爲には役場や農會又、實行組合長、翼壯團員の各位は手にとつて指導すると共に實踐躬行して六萬戸の農家と一般の消費者の御協力を得て本年も豐年萬作の實を擧げられます樣に特にお願ひして止まない次第であります

五月ノ大詔奉戴日實踐事項

一、空地を利用しませう。

この日には、都市では空地を一坪も餘さぬやう隣組や家庭で野菜やヒマを作ること。尙ヒマの蒔付けの終らぬところではこの日をもつてあらゆる空地を利用して一粒も餘さず蒔付けを完了すること。

二、貯蓄の新目標をきめませう。

この日までに、部落會、町内會や隣組では本年度のその貯蓄目標額を決定してみんなに知せること。

となり組からぬくための實戰場

隣組について（二）
―使命―

地方課長 西村寅雄

前回には隣組の發達に就てその大要を述べて置きましたが、今回はその使命に就いて述べたいと思ひます。

近頃電車に乘りましても、又工場や會社に參りましても、隣組運動として和親共助の實行が强調せられてゐますことは、寔に結構なる企でありますが、部落會、町内會の下部組織である隣組に於て要求せられます使命はかゝる單なる和親共助といふが如き微溫的のものに止らず、卽ち内務省訓令に基く部落會、町内會の目的に合致するものでなければなりません。然らば部落會や町内會の目的は何でありますかと云へば、皆樣も御承知のことゝは存じますが、訓令の本文を左に引用しますれば

一、隣保團結ノ精神ニ基キ市町村内住民ヲ組織結合シ萬民翼贊ノ本旨ニ則リ地方共同ノ任務ヲ遂行セシムルコト

となつてゐますが、隣保團結の精神は我が國傳來の美風であつて自治の根元はこれから出發せなければならないのであります。而してわが國は一大家族國家でありまして顧は一家、國民は一大家族であります樣に部落會、町内會が一家、部落民が一家族であり、隣組が亦一家、隣組員が一家族となる譯であります。この一家族が苦樂を共にし、相倚り相助くる所に、我國固有の美しい精神が流れ、力强い國民的團結が保たれて來たのでありまます。

かように部落會や町内會は隣保團結の精神を基調とし、地域的に最下部の國民組織を作りまして、萬民翼贊の本旨に添ふて各地方共同の任務を遂行することがその目的の一つでありますす。そこで隣組は部落會、町内會の統制のもとに隣保が堅く結束し各その職分に應じ日常生活に於て國家のために御奉公せなければなりません。卽ち隣組の任務はすべて國策を基調とし、これに歸一する樣に遂行することが何より大切な事柄であります。

二、國民ノ道德的錬成ト精神的團結ヲ圖ルノ基礎組織タラシムルコト

わたくしたちは常に國民としての敎養を積んで自己を反省し、よりよき國民生活に進みことが必要でありますが、大東亞戰爭以來殊に最近は時局は益々深刻となり複雜多岐となつて參りましたから愈々その必要性を感ずる次第であります。それ故部落會、町内會乃至隣組の組織を通じて國民の道德的錬成が要望せらるゝ所以であります。

部落會、町内會又は隣組はその組織のもとに常會を通じ相互に切磋琢磨し、これを協同生活實踐的訓練と陶冶によつて始めて日常の生活は醇化せられ、國民道德の向上が實現せらるゝのであります。

國民が眞にこの健全なる隣保生活から進んで國家の意識に目醒るならば、われわれの日常生活に於て今日やかましく論議せられてゐます經濟的部面の非國民的の行爲は跡を絶ち、眞に國民倶に憂ひ倶に樂しむ境地は開けれ、同時に精神的團結が結成せられまして、この重大時局を乘り切ることが極めて容易となることを確信する次第であります（此項ツヾク）

兒童愛護運動
隣組行事

△昇る日の本子供は寶
△强く正しく愛らしく
△ドノコモヨイコニツヨイコニ
△良い子强い子お役に立つ子
△この子國の子明るく强く

五月一日から十日まで健民運動の一翼として兒童愛護運動が全國的に展開されますが隣組を中心として次の行事を實施し出産率が低く乳幼兒死亡率が高く其の上死流早産が多いと云ふ本縣の汚名を雪ぐことに協力致しませう

イ、隣組を中心とする母性の會合を催し育兒其他兒童保護に關する知識竝に實力の涵養に資する等の方途を講ずること

ロ、隣組保育の計畫實施を圖り母性の生産力擴充を强化すると共に乳幼兒國民學校低學年兒童の保護の方途を講ずる事

ハ、姙産婦の過勞に伴ふ諸弊害を防止すると共に乳幼兒を擁する母性援助のため必需物資代行購入の協力組織の徹底强化を圖ること

ニ、姙婦の屆出竝健康診斷等に關し特に徹底を期し母體の保健、流産、早産、死産等の積極的防止に努むること

ホ、母乳第一主義の徹底を圖ると共に貰ひ乳協力網の擴大を圖り乳兒の死亡率減少に努むること

ヘ、物資の交換融通等に依り消費生活の合理化を圖り母性竝兒童保護の徹底を期するの方途を講ずること

ト、空襲時に於ける隣組兒童の退避方策を實際に適合する樣に具體的に講ずると共に之が訓練を實施すること

チ、母子を中心とする隣組明朗化運動（例、遠足、運動會、演藝會等）の實施を圖ること

國民貯蓄に凱歌あがる！

昭和十八年度もこの意氣で一年中の計畫は出來たか

○昭和十七年度國の貯蓄目標二百三十億圓を達成したと言ふことが大藏省より發表された

○我が奈良縣では一月末に早くも目標一億一千五百萬圓を突破し、東の宮城縣と共に、良々の成績であると發表された

○誠に喜ばしき限りである。此の點我が奈良縣民は大いに肩身を廣くし、誇るに足るものと思はれる。

○昭和十八年度も、この調子で一億四千萬圓の目標達成に突進して、貯蓄大和の意氣を示さう。

○本年は昨年より縣民一人當三十二圓七十八錢だけ餘計に貯蓄しないと、目標が達成出來ぬことになつてゐる。

○縣内一軒一軒の二百七十億圓に對する責任額はもう、夫々わかつてゐるであらふ。

○貯蓄責任額を果す爲には、先づ「何月には何と何とを」「何月には何と何とを」と言ふ風に一ケ年の貯蓄計畫を樹てゝ、その殘りの收入で生活しなければならぬと思ふ。

○本年の好成績に馴れて、一寸でも心を緩るめると折角築き上げた貯蓄の塔は直ちに崩れる。

○十八年度の成績は、十七年度より落すことは絶對出來ぬ、我等は經濟の全力を擧げて、一億四千萬圓達成に驀進しやう。

生産奉仕隊を强化
増産戰に勝つため

大政翼贊會奈良縣支部

「農村は食糧増産の戰場である」大東亞戰爭を勝ち抜くためには、別稿五月常會徹底事項にもあるやうに、農家以外の人達も農家と力を合せて、米、麥、甘藷などの食糧増産戰にも勝ち抜くやう頑張つて頂きたいのである。

これがため大政翼贊會奈良縣支部では縣農會と協力して、縣下に於ける生産事情に鑑み、食糧増産の爲汗にまみれて敢闘する農家に協力する事が、卽ち國家に奉仕することであると言ふ觀點から、縣民各位の自發的な愛國意志に愬へて、食糧増産部門への奉仕協力を促し、勤勞奉公精神の涵養を圖ると共に、健民運動の一環として昨年五月の農繁期より生産奉仕運動を展開奈良市を始め縣下二十九町の農家以外の家庭二戸から一人宛の割合を以て出動する生産奉仕隊を編成し、農家の申込みを俟つて農會の斡旋により、麥小麥刈り、豆むしり、馬鈴薯掘りを始め田植等の作業に手辨當で出動し、農業戰士の勞苦を身を以て體得すると共に、食糧に對する感謝の念を一層深くし、又農家も奉仕隊協力に感激、更に増産の爲挺身せん事を誓つて増産に精勵する等多大の實効を收めたので、今年も更に奉仕隊を强化つて、國策完遂へ邁進する事になつてゐる。若しいまだ奉仕隊結成して居ない隣組があれば、この際早急にに結成せられ以て、この要請に應へられんことを切望する次第である。